



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 クリナップ株式会社

コード番号 7955 URL <http://cleanup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 強一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長

(氏名) 川田 和弘

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 03-3894-4771

平成27年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	56,393	△6.6	398	△84.2	276	△88.1	83	△88.5
27年3月期第2四半期	60,377	0.8	2,517	△33.1	2,316	△35.0	725	△65.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △39百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 785百万円 (△64.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	2.01	—
27年3月期第2四半期	16.78	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第2四半期	86,371	56,051	64.9	1,347.67
27年3月期	86,063	56,509	65.7	1,358.69

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 56,051百万円 27年3月期 56,509百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	114,000	△1.9	1,500	△50.5	1,260	△53.4	600	△32.1	14.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	41,942,374 株	27年3月期	41,942,374 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	351,247 株	27年3月期	351,297 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	41,591,117 株	27年3月期2Q	43,257,932 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)期末自己株式数には、「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式(28年3月期2Q 300,980株、27年3月期 301,100株)が含まれております。また、「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(28年3月期2Q 301,020株、27年3月期2Q 100,367株)。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成27年11月12日(木)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、継続する円安及び株高を背景に緩やかな景気回復の兆しがみられたものの、消費税増税駆け込み需要の反動によって低迷を続ける個人消費の持ち直しには至らず、先行き不透明な状況で推移いたしました。

住宅設備機器業界におきましては、新設住宅着工戸数が3月以降、前年同月を連続して上回り、回復の動きをみせましたが、リフォーム市場においては本格的な需要拡大には至らず、当社を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような中で当社グループは、平成27年5月に『流レールシンク』を標準装備して新発売したシステムキッチン「クリンレディ」や、『美コートワークトップ』を標準装備したシステムキッチン「S. S.」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るために、全国101ヶ所のショールームを活用したフェアを開催し、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーとの連携も深めながら、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、東西の生産バランス再編を踏まえながら、引き続きVE活動を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高を部門別にみますと、厨房部門では、システムキッチン「S. S.」は数量、金額とも減、「クリンレディ」は数量、金額とも減、「ラクセラ」も数量、金額とも減となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比7.4%減の436億7千7百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも減、「ユアシス」は数量、金額とも減、洗面化粧台においても数量、金額とも減となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比4.7%減の97億4千5百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.6%減の563億9千3百万円となりました。利益面では営業利益は同84.2%減の3億9千8百万円、経常利益は同88.1%減の2億7千6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同88.5%減の8千3百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は863億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7百万円増加いたしました。流動資産は558億2千9百万円となり、1億3千5百万円減少いたしました。これは現金及び預金が7億9千1百万円、受取手形及び売掛金が1億3千万円増加した一方、有価証券が6億9千9百万円、電子記録債権が3億6千3百万円減少したこと等によります。固定資産は305億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億4千2百万円増加いたしました。これは有形固定資産が5億3百万円、無形固定資産が1億7千4百万円増加した一方、投資その他の資産が2億3千5百万円減少したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は303億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億6千5百万円の増加となりました。流動負債は主に短期借入金が11億7千万円、未払金が6億1千1百万円増加した一方、買掛金が1億4千9百万円減少したこと等により13億3千4百万円増加し、244億2千1百万円となりました。固定負債は主に長期借入金の減少5億円等により5億6千9百万円減少し、58億9千8百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は560億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5千7百万円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益8千3百万円、配当金の支払い4億1千8百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億3百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の65.7%から64.9%になりました。

## (キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億9千1百万円（3.4%）増加して243億7千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は16億3千8百万円（前年同期比118.4%増）となりました。これは税金等調整前四半期純利益が2億5千4百万円、減価償却費が16億5千2百万円、未払金の増加8億2百万円があった一方、たな卸資産の増加4億7千9百万円、仕入債務の減少1億4千9百万円、法人税等の支払額1億7千1百万円があったこと等によるものです。

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は10億5千9百万円（前年同期比47.7%減）となりました。これは生産設備の増設及び改修等により有形固定資産の取得による支出が14億5千8百万円、情報システム構築に伴う無形固定資産の取得による支出が5億6千万円あった一方、投資有価証券の償還による収入が2億円、有価証券の償還による収入が7億円あったこと等によるものです。

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果得られた資金は2億円（前年同期は53億5千4百万円の使用）となりました。これは長期借入金の約定返済11億3千万円、配当金の支払いが4億1千8百万円あった一方、短期借入れによる収入が18億円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、政府の経済政策による景気回復が期待されるものの、円安による原材料価格の上昇や増税反動による消費マインドの低下継続など、先行き不透明な状況で推移するものと思われ、当社を取り巻く環境は、厳しいものが見込まれます。

このような状況の中、当社グループは平成27年5月に『流レールシンク』を標準装備して新発売したシステムキッチン「クリンレディ」や、『美コートワークトップ』を標準装備したシステムキッチン「S. S.」などを中心として売上拡大に努めてまいります。また、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供を引き続き強化し、会員登録制組織「水まわり工房」加盟店及び有力会社とも連携してリフォーム需要を喚起し、効果的な販売活動に注力してまいります。

さらに、生産設備の増強、ショールームの改装、情報基盤整備等への積極的な投資の一方、生産面での原価低減、全社的なコスト削減にも努めてまいります。

以上により、平成27年11月2日に公表いたしました連結業績予想につきましては、現時点において変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,564	22,356
受取手形及び売掛金	18,670	18,800
電子記録債権	7,155	6,791
有価証券	2,713	2,014
商品及び製品	2,663	2,760
仕掛品	118	121
原材料及び貯蔵品	1,001	946
その他	2,118	2,080
貸倒引当金	△41	△41
流動資産合計	55,964	55,829
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,346	9,138
その他(純額)	12,081	12,792
有形固定資産合計	21,427	21,930
無形固定資産	2,568	2,743
投資その他の資産		
投資有価証券	3,501	3,150
その他	2,673	2,788
貸倒引当金	△71	△71
投資その他の資産合計	6,103	5,867
固定資産合計	30,099	30,542
資産合計	86,063	86,371

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,036	6,886
短期借入金	2,059	3,230
未払金	10,147	10,759
未払法人税等	170	251
賞与引当金	1,131	1,165
資産除去債務	9	12
その他	2,532	2,114
流動負債合計	23,087	24,421
固定負債		
長期借入金	1,273	772
退職給付に係る負債	1,284	1,190
役員退職慰労引当金	416	416
厚生年金基金解散損失引当金	915	915
株式給付引当金	62	94
資産除去債務	362	359
その他	2,152	2,148
固定負債合計	6,467	5,898
負債合計	29,554	30,319
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	29,387	29,051
自己株式	△310	△310
株主資本合計	54,695	54,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,029	925
為替換算調整勘定	130	147
退職給付に係る調整累計額	653	617
その他の包括利益累計額合計	1,814	1,691
純資産合計	56,509	56,051
負債純資産合計	86,063	86,371

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	60,377	56,393
売上原価	39,640	37,983
売上総利益	20,737	18,410
販売費及び一般管理費	18,220	18,011
営業利益	2,517	398
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	42	49
仕入割引	163	140
その他	65	78
営業外収益合計	278	278
営業外費用		
支払利息	18	14
売上割引	410	338
その他	51	47
営業外費用合計	480	400
経常利益	2,316	276
特別利益		
固定資産売却益	9	45
特別利益合計	9	45
特別損失		
固定資産除売却損	42	66
減損損失	8	0
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	893	—
特別損失合計	944	67
税金等調整前四半期純利益	1,380	254
法人税等	655	171
四半期純利益	725	83
親会社株主に帰属する四半期純利益	725	83

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	725	83
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114	△103
為替換算調整勘定	△17	16
退職給付に係る調整額	△36	△36
その他の包括利益合計	60	△122
四半期包括利益	785	△39
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	785	△39
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,380	254
減価償却費	1,427	1,652
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△92	34
厚生年金基金解散損失引当金の増減額 (△は減少)	893	—
売上債権の増減額 (△は増加)	4,705	74
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,241	△479
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,386	△149
未払金の増減額 (△は減少)	△1,636	802
その他	△81	△574
小計	3,967	1,615
利息及び配当金の受取額	49	59
利息の支払額	△18	△11
法人税等の支払額	△3,248	△171
法人税等の還付額	—	145
営業活動によるキャッシュ・フロー	750	1,638
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△500	—
有価証券の償還による収入	—	700
有形固定資産の取得による支出	△1,277	△1,458
有形固定資産の売却による収入	12	63
無形固定資産の取得による支出	△256	△560
投資有価証券の取得による支出	△5	△1
投資有価証券の償還による収入	—	200
その他	△1	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,027	△1,059
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300	1,800
長期借入金の返済による支出	△799	△1,130
自己株式の取得による支出	△4,115	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△698	△418
その他	△40	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,354	200
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,637	791
現金及び現金同等物の期首残高	31,321	23,578
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,684	24,370

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

当社及び連結子会社は、住宅及び店舗・事業所用設備機器関連事業とその他事業を行っておりますが、報告セグメントは単一セグメントであり、重要性が乏しいため、記載を省略しております。